

～闘魂記～

「闘魂」・・・魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第1学年

第10号 2026年 2月16日(月)

学年目標「けじめ」と「思いやり」

「へこたれず、根気強く！」

2月1日(日)～3日(火)まで2泊3日でスキー移動教室に行ってきました。天候に恵まれ菅平の大自然を全身で感じ、スキーの講習には最高の3日間となりました。その成果もあり、参加した全員が技能を向上させ、スキーの魅力を存分に味わうことができました。

何かを習得するにはそれなりの困難があり、根気が必要となります。途中、嫌になったり、くじけそうになったりすることはよくあることで、ここを乗り越えない限り成長はできません。スキー移動教室では、ほとんどの人たちが初心者ということもあり、特に2日目の午前中が勝負の分かれ目でした。少し「喝(闘魂)!」を入れて臨んだ2日目の午前、へこたれる生徒は一人もいません。各実習班で励まし合いながら、何度転んでも立ち上がり、困難を乗り越えた2日目の午後には笑顔もたくさん増え、スイスイ滑れるようになりました。

また、「自分たちで決めたきまりを自分たちで守る」ことも大切な取組の1つでした。きまりやマナーを守るとは、簡単に言うと「他者への配慮」をするということです。一人一人が他者への配慮ができる行動ができるからこそ、「安心・安全」が生まれます。さらに自分たちで決めたきまりを守ることとは、単なる規律を守るとは意味合いが違います。自分たちで決めたことを自分たちで主体的に守るからこそ「自律や責任を養うことができ、実践的な社会生活への準備」にも繋がります。社会に出たときに決まりを守ることが当たり前に行うために、集団生活を通してその行動の仕方を学ぶのです。

さて、このスキー移動教室では「学年全体で成長できたところ」と「今後の課題」、両方をみることできた行事となりました。そんな「成功」もあり、「課題」も新たに確認できた移動教室でしたが、スキー実行委員を中心に生徒たちが主体となって、取り組めた思い出に残る最高の3日間となりました。

最高の天候の中、菅平の自然を全身で浴びてできたスキー実習

